

情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。

子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



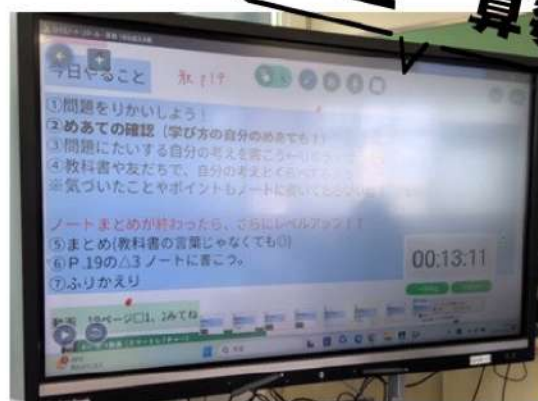
4年生 算数

授業の様子

4年生の算数では、一億をこえる数の学習が行われていました。

学習のめあてを全体で確認したあと、それぞれが学習に取り組んでいました。

ロイロノートに、その時間に取り組む教科書のページや問題が貼られており、児童はそれを見ながら学習を進めていました。ノートにまとめる児童、ロイロノート上で整理しながらまとめる児童など、さまざまな方法で取り組む姿が見られました。



自己調整学習

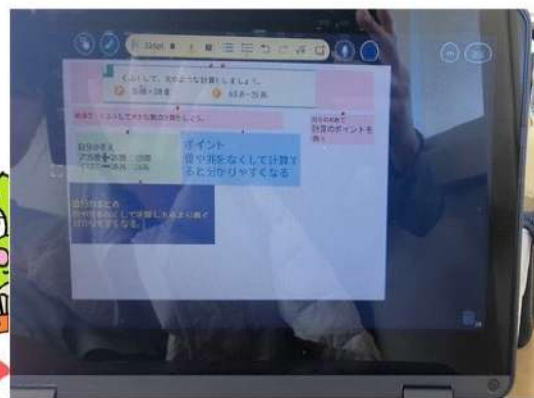
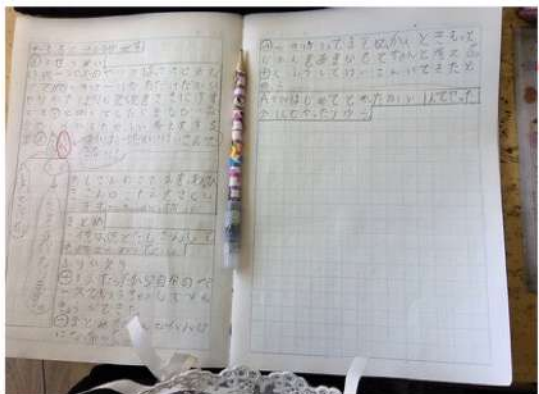
授業のはじめには、全体のめあてを確認したあとに、自分自身のめあてを考える時間がありました。

「どこを意識して学習するか」「どんな力をつけたいか」を自分で決めることで、子どもたちが「自分の学び」を意識しながら取り組んでいました。

「どのように学ぶと自分が分かりやすいか」を考えながら進めていることから、子どもたちが少しずつ自分で学びを調整しようとしていることが伝わってきました！

すてきな姿☆

友だちのロイロノートでのまとめ方を見て、「自分ももっとわかりやすくまとめたい」と、ノートの書き方や整理の仕方を工夫しながら学習する姿勢がとってもすてき！



「自分の考え」や「ポイント」を書きながらまとめており、計算の仕方だけでなく、「なぜそのように考えたのか」「どこに気を付けるとよいのか」を、自分なりに整理しながら学習していました。

また、ただ問題を解くだけではなく、計算のポイントや気づいたことを言葉で残そうとしている姿も見られ、自分の考えを振り返りながら学習を進めている様子がすてきでした！